

## ★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 坂本修一 副委員長 和田有史・清河幸子

幹事 望月理香・和田充史 幹事補佐 山田祐樹・田中大介・根岸一平

日時 12月23日(木) 13:00~18:00

24日(金) 9:15~12:00

会場 オンライン開催 (zoom) (東北大学電気通信研究所 坂本修一 TEL [022] 217-5460)

議題 マルチモーダル, 感性情報処理, 視知覚とその応用, 生涯学, ヒューマン情報処理一般  
23日午後 (13:00~18:00)

1. フェルメールの左・キリコの右一画中の照明方向が絵画の印象に及ぼす影響—  
○三浦佳世 (九大)・銭 琨 (福岡大)
2. 画像の好み評価における眼球と頭部運動の影響  
○千葉寿晃・羽鳥康裕・佐藤好幸・曾 加蕙・塩入 諭 (東北大)
3. 背景画像と背景音の付加が避難喚起音声の印象変化に与える影響  
○小川航平・山高正烈 (愛知工科大)・坂本修一・鈴木陽一・邑本俊亮 (東北大)
4. サウンドの再生方法の違いによる frisson と ASMR の比較  
○佐々木尚之・前川修太・坂本修一・坂井信之 (東北大)
5. 味覚の色イメージに関する文化比較研究—日露露の比較—  
○ラエフスキーアレクサンドル (学振外国)・陳 奕全 (馬偕醫)・坂井信之 (東北大)
6. マルチセンサーを用いた k 近傍法による感情分析の提案 ○張 名暉・沼尾雅之 (電通大)
7. 道徳的エピソードにおける日本人の意思決定及び関連尺度の調査  
○田島悠介・白井理沙子・石井辰典・杉本海里 (早大)・山本和彦・杉浦繁貴 (コンボン研究所)・渡邊克巳 (早大)
8. [招待講演] 空間統計モデルを用いた COVID-19 の主観的幸福度への影響に関する実証分析—どのような人々が COVID-19 の影響を大きく受けたのか?— 佐藤宇樹 (東北大)

24日午前 (9:15~12:00)

1. 聴覚接近刺激の到来方向が接触時間予測に及ぼす影響 ○林田侑志郎・寺岡 諒・寺本 渉 (熊本大)
2. 頭部運動が相対回転移動音の位置知覚に及ぼす影響 ○守部颯一郎・坂本修一 (東北大)
3. Investigation of critical brain states to initiate attentional shift ○Wei Wu・Kazuya Kobayashi・Dengzhe Hou・Shin Ono・Yoshiyuki Sato・Yasuhiro Hatori・Chia-huei Tseng・Ichiro Kuriki・Satoshi Shioiri (Tohoku Univ.)
4. [招待講演] 写真を用いてロボットが司会し会話する PICMOR (ピクモア) プログラムの認知的介入効果—どのような社会的相互作用が認知予備力を高めるのか?— 大武美保子 (理研)

◆学術変革領域研究 A 「生涯学の創出—超高齢社会における発達・加齢観の刷新」, 東北大学ヨッタインフォマティクス研究センター, 日本認知心理学会; 感性学研究部会, 日本心理学会; 注意と認知研究会, 東北大学電気通信研究所; 音響工学研究会共催

### 【問合先】

坂本修一 (東北大)

E-mail: saka@ais.riec.tohoku.ac.jp